

半導体漫遊記

湯之上隆

55

データセンター事業で日本に進出する米Fusion-io(フュージョンアイオー)の記者会見が、2月28日、新宿パークハイアットで行われた。

現在、世界は情報爆発時代を迎えている。facebookのユーザー数は10億人を突破し、スマホを利用する人は数十億人に上る。

その結果、現代人は何十年もかけて入手している情報をわずか1日で得ている。また2003〜12年の10年間で人類は5エクサバイト(10の18乗800京バイト)のデータを生成した。ところが、2013年には、このデータ量がたった10分間で生み出されるとい

成した。ところが、2013年には、このデータ量がたった10分間で生み出されるといふ。インターネットに接続されているスマホやPCなどの機器は500億台を超えた。その

Appie開発「ウォズの魔法使い」

世界のPC時代開拓



図1 「ウォズの魔法使い」との記念撮影 (左から、ウォズ、私、デイビッドCEO)

任用)が、同社の技術を使えば年間115兆円かかっていたデータセンターのコストをわずか24兆円に削減できること、世界の顧客数は既に4000社以上あること、日本ではミクシイや楽天に導入され、サーバー台数が1/10に低減できたことなどを説明した。次に登場したのは、Fusion-ioの

「ウォズの魔法使い」には愉快なエピソードがたくさんある。その中でも秀逸なのは、その中でも秀逸なのは、次のいたすらだろう。21歳の頃、雑誌を参考にして長距離電話をかける装置をジョブズと二人で創り出し、バーレーンと名付けた。そして、二人は長距離電話をかけまくったのだが、なんとウォズは国務長官のキツシンジャーの名前でパチカンに電話をかけて、教皇を呼び出したのである!電話に出た人は「就寝中で今から起こす」と言っていたため慌てて電話を切ったらしい。

実は、私がこの記者会見に参加したのは、この「ウォズの魔法使い」を一目見たことからである。実際に見た「ウォズの魔法使い」は、陽気でおしゃべりな、いたすら小僧がそのまま大人になってしまったような人物だった。

記者会見後に、記念撮影をさせてもらい、サインまでもらってしまった(図1)。ちょっとミスターだが、私の宝物になった(半導体技術者・社会科学者)

中心に位置するのがデータセンターである。記者会見では、まずFusion-ioのDavid Flynn CEO(デイビッド・プリン最高経営責任者)が、同社の技術を使えば年間115兆円かかっていたデータセンターのコストをわずか24兆円に削減できること、世界の顧客数は既に4000社以上あること、日本ではミクシイや楽天に導入され、サーバー台数が1/10に低減できたことなどを説明した。

次に登場したのは、Fusion-ioのDavid Flynn CEO(デイビッド・プリン最高経営責任者)が、同社の技術を使えば年間115兆円かかっていたデータセンターのコストをわずか24兆円に削減できること、世界の顧客数は既に4000社以上あること、日本ではミクシイや楽天に導入され、サーバー台数が1/10に低減できたことなどを説明した。

「ウォズの魔法使い」の愛称を持つタレの魔法」によってつくられたAppie IIをジョブズが売り込み、これが世界のPC時代